

正しいえんぴつの持ち方をチェックしましょう

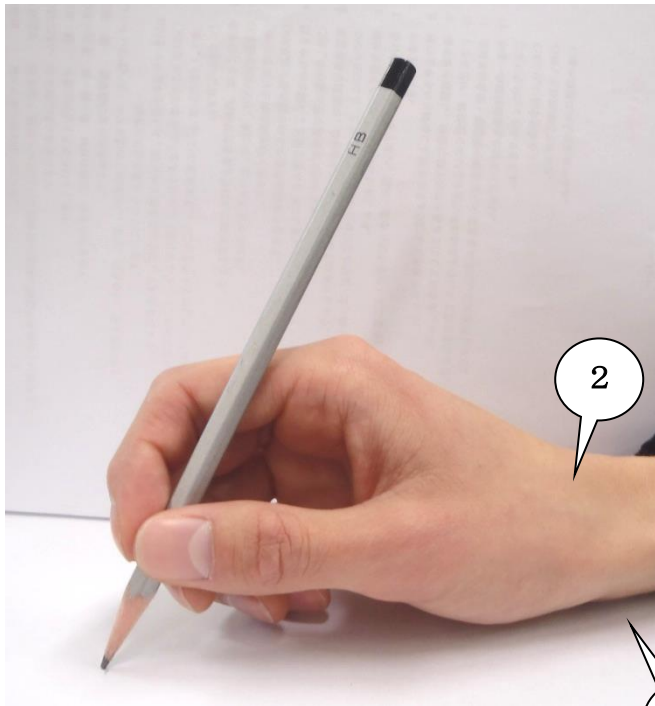
◎えんぴつの持ち方が悪いと…

- 1 指が疲れます。
- 2 指の屈折が少なくなるので、のびのびした大きな字が書けません。
- 3 書く速度が遅くなります。
- 4 書いた文字が見えにくい場合があります。

※間違った持ち方で覚えてしまうとなかなか修正できません。

[正しいえんぴつの持ち方]

- ① 手首は、浮き上がらないで、机の上を滑らせる。
- ② 手首から先の支えを正しくする。
- ③ 人差し指と親指の間に、指が一本入るようにあけて、軽く持つ。



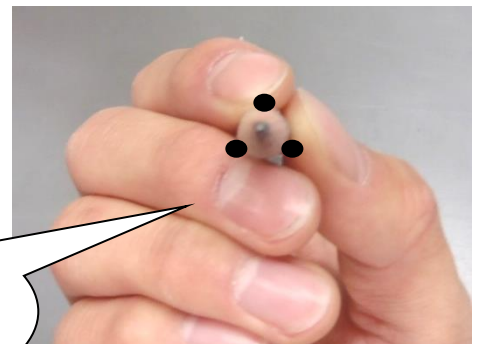
右利き



左利き

[えんぴつを持たない手や書くときの姿勢にも気をつけましょう。]

- ④ 指先をそろえて、用紙を軽く押さえる。
- ⑤ えんぴつの先が、右胸の前あたりにくるようにノートを動かす。
- ⑥ 背筋を伸ばす。



自分の持ち方と比べて
みましょう。3点で支え
られていますか。